

OBI News Letter

Issue 65

2023 Jun/1

お茶の水聖書学院 /OBI 後援会・同窓会 www.ochanomizu.cc/obi/

101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-1 OCC ビル 3F Tel/03-3296-1005 Fax/03-3296-1010 Mail/obi@ochanomizu.cc



信徒の神学の 府としてのOBI

お茶の水聖書学院の活気が戻ってきました。御茶ノ水に通学される学院生もあり、またZOOMで参加される学生は、日本国内のみならず海外からの参加もあります。

「信徒の神学」の府として、お茶の水聖書学院(以下OBI)はその歩みを続けてきました。牧師養成課程の神学校とは一線を画して、信徒が神学をすることを励まし支えてきました。もちろん卒業生には開拓伝道に従事され、地域教会の牧師として活躍をなさっておられる方もおられます。しかし卒業生の多くは地域教会の信徒として、神と教会に仕え、さらに神学の営みを継続し続けておられる方が多数です。

牧師にとってこのような信徒が教会に与えられることはどれほどの励みとなり、支えとなるでしょうか。教会の側に立ち、神学的にものごとを考え、時をわきまえて発言をする、その教会を建てあげる姿勢が、教会のなかで影響力を与えていく。そしてやがて同じような「教会のことば」「神学のことば」が教会の交わりや、祈りで表現されていく。何より誰よりも牧師の説教の良き聴き手となり、礼拝者でいてくれることは同僚者を教会に持つこと。それは教会の幸いであり、牧師の幸いです。

ここ数年のOBIの講師陣の特徴は、



OCC 副理事長 大嶋重徳

信徒の講師が幾人もおられることです。いわゆる地域教会の牧師でもなく、神学の専門の教師ではない「信徒の講師」です。信徒として神学を重ね、信徒としての神学のあり方をそれぞれの専門分野で研鑽をしてこられた方々です。信徒による「信徒の神学」がさらに深みを増し、新しい神学の言葉が生まれていることに喜びを感じています。

かつては神学の教師も教員でしたし、信徒として教会に仕え、教会に生きてきました。当然、神学教師も牧師も今もキリスト信徒ですしキリスト信者です。しかしこの間にか、自らが「信徒である」リアリティと「信徒のことば」を失ってしまうことがあるかもしれません。しかしOBIでなされていく、信徒の方が生み出していかれる信徒の神学によって、牧師はより牧

師としての「牧会者の神学」を自覚的にさせられていくように思います。

ぜひ新しくなった、さらに刺激的になっているOBIに是非、学んでいただきたいと思います。





OBI聖書科 2022年度報告

OBI教務主任
山村 諭

聖書科は2022年度から3学期制を導入し、これまで以上に多彩な教師陣をお迎えしてクラスを行うことができました。

正科には新たに6名が入学し、正科全体では14名、聴講生は春学期64名、秋学期67名、冬学期68名の方が学びました。オンラインで学べることもあり、関西からも正科生として入学する方が起きました。

コロナ禍の影響で、4月中はすべてのクラスをオンラインのみで行いましたが、5月連休明けから一部クラスでハイブリッドクラスを行い、リニューアルされた教室の使用が開始されました。



とは言え、対面で教室に来られる方は、数名にとどまり、ほとんどの受講生はオンラインでクラスに参加していました。コロナの影響が落ち着いて、教室に来られる方が増えることを期待しています。年に数回でも対面での交わりが持てれば幸いです。

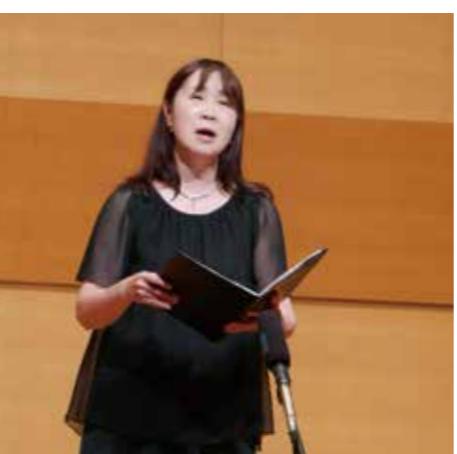
3月4日に卒業式を予定していましたが、2022年度は該当者なしのため中止としました。OBI正科は3年の在籍が必要ですが、3年で卒業する必要はなく、それぞれのペースでゆっくり学ぶことができます。2023年度は卒業式が行えると思います。

木曜4限枠で朝岡勝先生が組織神学を講じてくださっていましたが、2022年度で終末論までを完結し、教師の働きを退かれました。2023年度からこの枠を高木誠一先生(教文館編集者)が担当します。主と教会に仕える信徒を育成する働きについて、講義やワークショップなどを通して学びました(参加者16名)。



OBI教会音楽科2022年度報告

教会音楽科主任
内藤 真奈



2022年度は新規入学生が一人加わり、14名でスタートしました。前年度に続き新型コロナ感染対策を行いつつ、オルガン・ピアノ・声楽の実技レッスン、聖歌隊クラス(指導法を含む)を開講し、年間16回のクラス(発表会含む)が守られたことを主に感謝いたします。

2022年度から「教会音楽デー」は、年内に二回開催することになりました。第22回(7月)は大井満OBI学園長と福音讃美歌協会の中山信児師により、礼拝における音楽の意味、礼拝の讃美歌の役割について講義がなされました。

第23回(2023年1月)の前半は聖書科教師の菊池実師により、ネヘミヤ記の聖歌隊の様子、礼拝とみ言葉とともにある賛美の意義などについて講義がなされ、後半は教会音楽科教師によるオルガン・声楽・聖歌隊の公開レッスン

が行われました。講義及びレッスンは後日動画配信を行い、来場が叶わなかった方々にも用いられました。

10月には教師による「チャペルコンサート」を、久しぶりに対面と配信で行いました。人数制限はあったものの、一つ所に集まり音楽を通して共に主を賛美できる幸いと喜びを分かち合いました。

2023年2月には「発表会」も三年ぶりに対面で行うことができました。来場者の方々に励まされ、ともに主を讃える会となりましたが、感銘を受けられた一人の姉妹が2023年度入学されたのは大きな喜びです。

主の憐みの内に、学びとすべての行事が守られ祝されました。皆様のお祈りとご支援に心から感謝申し上げます。



1年間の学びを終えて

2022年度 聖書科(正科)

川久保 進
JECA・甲府キリスト福音教会

2022年度 聖書科(正科)

吉田 正明
基督兄弟団西宮教会・ニューコミュニティ西宮チャペル

定年後、聖書の系統的な学びを通して自分の召しを再確認したいと思いました。信徒を整えるOBIの教育方針だけでなく、地方にあってコロナ禍で講義に参加できないと諦めていたので、オンライン授業もOBIを希望する大きな動機でした。初年度は入門的な基礎科目を選択しました。課題や質問に挑戦することによって自分の理解不足が明らかになり、新しく気づくこともあります。自分が教会共同体の中にいることを実感し、聖書の解釈を学ぶとギリシャ語やヘブル語にも挑戦したくなりました。整体の施術のように学びによって信仰のバランスが整えられる思いがします。画面上であっても受講生の皆さんと顔を合わせて質問や回答を聞くことは刺激的で学びの励みです。

関西在住の私にとってOBIは遠い存在でしたが、Zoomで授業を受けられると知ったのは1年前のことでした。以前からギリシャ語を学びたいとは願っていましたが、OBIの豊富なプログラムを見た時、思わず入学の申込みをしていました。

年齢的にも3年間の学びが続けられるか直前まで不安でしたが、スタートしてすぐに先生方の熱意に引き込まれ、授業時間を持ちわびるようになっていました。授業も質問や意見交換が自由にできるよう工夫して進めてくださるので、いつも何か質問してやろうとの気持ちで臨んでいました。

あっという間の1年でしたが、卒業を目指してこれからも学びを続け、信徒奉仕者としての歩みにおいても成長していきたいと願っています。



鈴木廣子姉を偲んで

2020年度卒業生 清水明子



鈴木廣子姉の生涯を導いてくださった主を崇めます。

鈴木廣子姉は、周囲の方々を温かくもてなし、朗らかに証しする人でした。姉妹の証し（亡くなられたご主人のこと、ご自身の闘病、教会での働き、介護家族の会）に私はいつも励まされていました。姉妹は教会の中でも外でも忠実に働いておられたのです。

鈴木廣子姉はOBIの熱心な学生で、姉妹と私は授業の場で知り合いました。私達には、岩上敬人先生に卒業研究をご指導いただいた者同士という縊があります。鈴木姉の卒業研究は「信仰継承」という観点からパウロを研究したもので、末尾には主へ



OBIの学友と共に:
真ん中が鈴木廣子姉、右下が清水明子姉

鈴木廣子姉は昨年11月3日夜、脳梗塞と思しき症状で倒れ、5日に召されました。

77年のご生涯でした。9日、立川福音自由教会でのご葬儀には多くの方々が集いました。



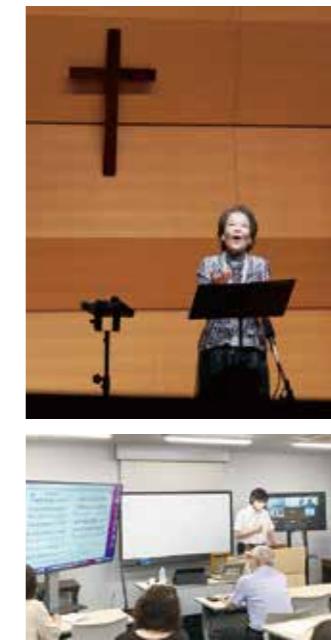
2023年度入学式

OBI学院長
大井 満

2023年度入学式 学窓トピックス

4月3日、2023年度入学式が聖書科正科6名、教会音楽科1名を迎えて、お茶の水クリスチヤンセンター8階チャペルにおいて行われました。司式は大井学院長、説教は山村教務主任、奏楽は内藤教会音楽科主任が奉仕しました。

4月4日より聖書科・教会音楽科ともに授業が始まり、聖書科では春学期に開講される14科目がオンラインもしくはハイブリッドで、順調に滑り出しています。現在の正科生と聴講生を合わせた受講生総数は、62名になります。



教会音楽デー Church music day チャペルコンサート Chapel Concerts

2023年度第一回目となる7月1日(土)の第24回は、毎回好評の菊池実師による「詩篇」をテーマにした2つの講義、斎藤とし子師のリードによる「詩篇を味わい、歌いましょう！」を行います（詳細はチラシ参照）。第二回目は1月27日、チャペルコンサートは10月14日、発表会は2月17日（いずれも土曜日）の予定です。

公開で行われるものは別途チラシやHPなどでご案内しますので、是非ご参加ください。

2023年度時間割：前期8回／後期8回（発表会含む）

| | | |
|---|-------------|-----------------------------------|
| 火 | 13:00-19:00 | 【オルガン】 内藤真奈・斎藤とし子 【声楽】 植木朋子・斎藤とし子 |
| 木 | 11:00-15:00 | 【声楽】 植木朋子 |
| 金 | 16:00-20:00 | 【声楽・聖歌隊（指導法）】 斎藤とし子 |

今年度の前期在籍者は16名です。引き続き、教会音楽科の歩みが祝されますようお祈りとご支援をお願い申し上げます。

諸教会・後援会・同窓会の皆様のお祈りとお支えを心から感謝しつつ。

鼎

teidan

談

信徒が神学を学ぶ意味

2023年3月15日(水)OCC会議室

主と教会に仕える信徒を育成するOBIの神学

山村 本日は、高木誠一先生を交えて、信徒が神学を学ぶ意味について、一緒に考えて行きたいと思います。まずは高木先生の自己紹介からお願いします。

高木 私は2001年に東京基督教大学の神学科を卒業して、キリスト新聞社で5年間働き、それから現在の教文館に転職しました。その間、ほぼ一貫して編集者という立場で仕事をしてきました。所属教会は日本同盟基督教団の徳丸町キリスト教会で、信徒として教会に仕えています。

大井 春学期は「キリスト教書の読み方」という講義を担当してくださいますが、「キリスト教書」を作る編集者のお仕事、「キリスト教出版」について、少し聞かせていただけますか。

高木 「キリスト教出版」と言っても、出版物は多岐にわたります。私はキリスト教出版を大きく三つに分けて考えています。一つ目は、キリスト者でない方向けの一般書、二つ目は、キリスト者向けの信仰書、三つ目は、牧師や大学の先生向けの専門書です。一般書としてヒットしたのは、カトリックの片柳弘史神父の『こころの深呼吸』に始まる文庫本です。信仰書としてヒットしたのは、OBIの関係では、大島重徳先生の『自由への指針』とか、朝岡勝先生の『教会に生きる喜び』、山崎龍一さんの『教会実務を神学する』という本です。実は、この三冊は、お茶の水クリスチヤンセン

ターの中にある、お茶の水神学研究会という交わりの中で原稿を検討し、本にしたもので、専門書だと、近藤勝彦先生の『キリスト教教義学』とか、加藤常昭先生の説教集や実践神学に関する本、あとは『オックスフォードキリスト教辞典』や、東京神学大学の先生を中心に執筆していただいた『新キリスト教組織神学事典』など、いくつかの事典も手掛けてきました。

山村 編集者は幅広い知識が求められますね。

高木 最近の学問の傾向は、狭く深く、専門性を深めていくことが求められますが、編集者という立場は広く浅く、キリスト教の全体を知っておくことが必要です。

山村 そんな高木さんをOBIにお迎えすることができて本当に感謝しています。

信徒が神学を学ぶ意味について、どのようにお考えですか。

高木 大きく2つの意味があると思います。個人の信仰の養いのためと、教会での奉仕のためという視点です。

大井 OBIで学んでいる方も同じ関心を抱いていると思います。もっと聖書を知りたい、もっと教育も家庭も意味を持っている。神学の学びは、私たちの生き方を問うてくるものになります。

個人の信仰の養いのための学び

高木 信仰者であれば誰もが「もっと聖書のことを知りたい」と願っています。礼拝で説教をする、CSでメッセージを語る、個人伝道で御言葉を説明する……さまざまな場面で、キリスト者には聖書の基本的な知識が必須になります。でも、読んでみると、「むずかしい」。

それは、まず一書ごとに文体も時代背景も神学的な特徴も違うからだと思います。そして、聖書全体のストーリーが分からず、そこにはやはり神学的思考がありますよね。

山村 一つ目の問い合わせてくれるのが、聖書学の学びです。

二つ目の聖書のストーリー、つまり創造、救済、終末へと至る流れについて教えてくれるのが組織神学だと言えます。

この組織神学を学ぶと、神が創造されたのは人間だけではなくて、時間と空間の中にある被造物全体であることが分かります。完成の時には、私の魂だけではなくて、被造世界のすべてが完成されるわけです。

そうなると、教会だけでなく、政治も科学も経済も教育も家庭も意味を持っている。神学の学びは、私たちの生き方を問うてくるものになります。

大井 私がOBIに関わり出した頃は、聖書各書講義というものがOBIの特色でした。66巻の一つ一つの書物を取り上げて、それを深く読み味わっていく。それはそれで充実した学びだと思います。でも私たちが運営するようになってから、今までのことを大事にしながらも、やはり神学を幅広く学べるカリキュラムに少しずつ変えました。

山村 私の学んだ神学校は聖書宣教会なので、聖書の教義を非常に重んじる、そういう特徴をもった学び舎です。ですから聖書そのものを味わう、聖書各書講義の魅力もよく分かるのです。各書が当時の文脈で語っていること、そこに迫ろうとするのも大切だと思います。でも、今の私たちにいかに語りかけているのかを聴き取ろうとするとき、そこにはやはり神学的思考がありますよね。

高木 各書講義の魅力って、一つの文書の文学ジャンルであったり、時代背景だったり、神学的な特徴とか思想っていうのが、分かって行くっていうことが魅力なんだと思います。それと同時に聖書ってやっぱり66巻全体で、神の創造から救済、完成という、一つのストーリーになっていて、このストーリーをきちんと理解して行くっていうのも、やっぱりすごく大切ですよね。

大井 救済史的視点がどうしても必要ですよね。

高木 聖書を学ぶことと、教理を学ぶことが、どちらかだけじゃなくて、両方がうまく両輪のようになってしまったバランスのとれた学びが必要だと思います。それが実際に教会を形成する言葉、伝道する言葉にもなっていくのだと思います。

大井 そうですね。OBIで学ぶ方は非常に熱心ですが、知的欲求を満たすだけに終わらない、教会形成に向かっていく学びを、もっと提供していきたいと思います。

2023年度秋冬学期の聴講追加募集をします！
締切は以下の通り。

秋学期 2023年8月10日 **冬学期** 2023年10月末

新規の方は書類審査（牧師推薦状）があります。
お早めのお申し込みをお願いいたします。

お問い合わせ先 → obi@ochanomizu.cc

教会での奉仕につながる学び

山村 牧師と共に、教会に仕える喜びと苦悩を味わってくださる信徒の方がいたら、本当に心強いけですね。

高木 そしてやはり、役員も、福音のことば、教会を造り上げることばを語ることが大切だと思います。ある意味で牧師と同じ言葉をしゃべれる人ですね。私たちの教会は、そういう方を育てていただきたいっていう実感があります。

大井 そのような教会のことばを獲得するため大切なことは何だと思いますか。

高木 一つには、牧師の説教の一番の良い聞き手であることだと思います。私は編集者として、説教集をいくつも作ってきました。その中で感じることは、すぐれた神学者はすぐれた説教者であるということです。神学の本領は説教によって發揮されると言つてもよいと思っています。そういう意味では、近藤勝彦先生は、私が出会ってきた中でも、本当に素晴らしい神学者であり、その神学が説教に見事に生かされている方だと思います。神学における思索が、説教の随所にじみ出ています。神学が説教に生かされ、教会共同体を御言葉によって生かす喜びが神学の思索に還元されていく。神学と説教が結びついて、絶えず循環していく。そのようになっていくと、なお神学を学ぶ喜びがわかってくるようになると思います。

山村 徳丸町は信徒の方が礼拝で説教をする伝統がありますよね。

高木 前任牧師の朝岡先生はよく「全体を見ることが大切だ」とおっしゃっていました。私なりに理解しているのは、いつも「聖書の全体」、「教え（教理）の全体」、「群れ（教会）の全体」、「世界の全体」を見るということです。神学はよく「教会の学」と呼ばれます。

私の教会では、役員就任式の時に、「役員は牧師と共に、教会の重い責任を負う務めです」とおっしゃっていました。「牧師を助けて」とか「牧師に仕えて」ではないのです。それであれば、やはり教会に立てられた牧師と同じ方向を見て、同じように考えて、同じように行動できるようになりたいと思うんですね。



山村 秋学期火曜4限には、近藤勝彦先生の「キリスト教教義学入門」がありますね。そして高木先生は秋冬学期木曜4限に「信徒のための神学講座」を講じてくださいます。私たちの信仰の養いと、教会に仕えるための有益な学びになると確信しています。



2023年度年間スケジュール**April.**

- 4/3 (月) 入学式
4 (火) [聖]春学期開始
[音]前期開始

Jun.

- 6/30 (金) [音]夏休み前最終日

July.

- 7/1 (土) [聖]春学期終了
[音]教会音楽デー(1)

夏休み

7/3-5 (月-水) サマースクーリング

Sept.

- 9/1 (金) [聖]秋学期開始
5 (火) [音]授業開始
29 (金) [音]前期終了

Oct.

- 10/3 (火) [音]後期開始
14 (土) [音]チャペルコンサート

Nov.

- 11/18 (土) [聖]秋学期終了
21 (火) [聖]冬学期開始

Dec.

- 12/14 (木) [音]年末年始前最終日
12/16 (土) [聖]年末年始前最終日

年末年始休み

Jan.

- 1/9 (火) [聖]授業再開
11 (木) [音]授業再開
27 (土) [音]教会音楽デー(2)

Feb.

- 2/17 (土) [音]学年末発表会
(後期終了)

Mar.

- 3/1 (金) [聖]冬学期終了
9 (土) 卒業式

新設**教会実務研修コース**

皆さまの尊いご献金を
心より感謝申し上げます。

2022年10月1日～2023年3月31日

市川北バプテスト教会

牛久福音キリスト教会

宇都宮聖書バプテスト教会

荻窪栄光教会

久遠基督教会

古河教会

小平聖書キリスト教会

日本基督教団佐倉教会

百合ヶ丘バプテスト教会

横浜海岸キリスト教会

安藤良一 安佛理恵

飯島多稼夫 猪狩友行・多佳子

生田今日子 石井由紀

石塚幸子 岩橋栄造

岩渕勲 植木朋子(2)

奥芝彰子 奥平かおり

小野沢恵子(2) 甲斐博

柏保朝子 加藤潤哉

鎌塚秀三 加茂康一

川島正子 菊池実

北川君子 金田一佳代子

工藤紘子(2) 倉内一寿

倉澤薰代(2) 慶徳正好

小泉泉 小林直子(2)

斎藤とし子 迫田由美子

塙崎文世 鳴崎岳史

下村明矢 杉山礼子

須子都 関口悦子

田中惠子 内藤清吉

内藤真奈 中尾直美

長崎香奈枝 中島總一郎

中城昭治 芳賀功

原正子 東利雄

日名富子 藤原導夫・智子(2)

堀江八重子 町田恵子(2)

水口功 目崎由紀子

ヤスオカシュクコ

山口松子 米田由起子

脇坂勇(3) ワダケンジ

後援会・同窓会(3)

学年末発表会・チャペルコンサート(席上)

講 師：山 崎 龍 一

O C C 常務理事



OBI 教師の著書



山口希生先生 著



「ユダヤ人も異邦人もなく:パウロ研究の新潮流」
が新教出版社から出版されました。

OBI 2024年度 聖書科・教会音楽科 募集期間のお知らせ

入学願書の締切は

聖書科(正科・聴講)1月末まで
教会音楽科 2月末まで

入学・聴講ご希望の方は、
まずはメールでお問い合わせください。

obi@ochanomizu.cc